

令和3年度 大館市立長木小学校 学校評価書

令和3年 9月

I 学校教育目標

ふるさとに立ち 心豊かで たくましく 生き生きと学び合う 子どもの育成
～樹海の里で 仲間とつくりよう！感動と笑顔～

II 本年度の経営の基本方針

- (1) チーム長木として、明確なめあてをもち、職員個々の力を生かしながら学校運営に当たる。
- (2) 他のよさを認め、自分のよさを発揮しながらたくましく協働できる子どもの育成に努める。
- (3) 児童の実態に合わせた3つの輝き力向上に継続的に取り組む。
- (4) 適切な情報発信を心掛け、保護者・地域に信頼される学校を目指す。



あじさいレールロード植樹参加 地域の夢と温かさを感じながら

III 学校評価基準等

自己評価Aと 学校関係者評 価の評価基準	きわめて良好 良好 おおむね良好 やや不十分 努力を要する	自己評価Bの 評価基準	5	実現状況はきわめてよく意識も高い／数値目標100%
			4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標81～99%達成
			3	実現状況はおおむね良好／数値目標61～80%達成
			2	実現状況はやや不十分で取り組みが不安定／同40～60%
			1	実現状況は不十分で努力を要する／同39%以下

◆児童・保護者アンケート調査評価基準・集計状況

よくしている・よい	4
まあまあよい	3
あまりよくない・少し不十分	2
まったくよくない・不十分	1
わからない	0

調査対象児童数3～6学年	93名
調査対象保護者世帯数	109世帯
保護者アンケート回収率 前期	97%

IV 項目別評価

I 社会性の育成

児童生徒の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員コメント
基本的な生活習慣を身に付け、規律ある態度で、協力し合い、充実した学校生活を送ろうとしている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	「いじめ等のない安心できる学校づくり」に関して、学校側は4.0であるが、保護者側が不十分や分からないの評価があり、昨年度より下がっている。学校側の取組が分かるように、見える化するとうい。
	年度			
自己評価の概要と学校の改善策	【前期→年度】1学期はコロナ感染症の状況も落ち着いており、感染予防を行いながら、子どもたちは伸び伸びと活動できていた。今年度は、3つの輝き力を大事にしながら「たくましさ」の育成を目指し、短期のPDCAを行いながら取り組んでいる。あいさつや自己表現に関して、いつでもどこでも一人でもできるように指導を継続していく。また、全児童にとって安心して過ごせる学校・学級となるよう、全職員で情報共有しながら保護者ともより一層の連携を取り支援・指導にあたりたい。			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
(1) 基本的な生活習慣	①正しい言葉遣いとあいさつと返事の習慣化	あいさつ運動 登下校時や校内でのあいさつの指導 あいさつ運動	3.6	
	②生活の約束を守る姿勢・態度の定着	長木っ子の約束の徹底		
(2) 集団生活・集団行動	③よりよい学校づくりに参画する態度と実践力の育成	児童会活動(委員会 子ども集会) クラブ活動	3.8	
	④学級活動における、互いのよさを生かし認め合う態度の育成	係活動 学級会 グループ活動 輝き合い集会 絆タイム		
(3) 組織的な生徒指導	⑤校内外の危険箇所の把握と安全環境の確保	交通安全教室 避難訓練 登校指導 危険箇所点検 連絡網・メール配信システムの整備 PTA・地域子ども見守り隊との連携	3.9	
	⑥問題行動等の早期発見、早期対応、指導体制の確立	長木っ子を語る会 個人面談 定期的な情報交換 生徒指導の研修会		

【各種データ】

◆教職員による評価

自己評価A	評価指標(自己評価B)	実践課題(自己評価B)	
3.7	(1)=3.6	①=3.9	②=3.3
	(2)=3.8	③=3.8	④=3.8
	(3)=3.9	⑤=3.8	⑥=4.0

- ・あいさつ講習会で、子ども同士で教え合うのがよかった。
- ・子ども同士の「縦の繋がり」がとても自然である。これまで組織として共通理解を図り取り組んできた成果であり、子どもにもそのよさが伝わっているからだと考える。
- ・心配な児童がいると学担一人で抱え込まずに、すぐにケース会議を開くことができている。

◆児童アンケート ※単位は%。端数処理等で100%にならない場合がある。 上段：R2前期 下段：R3前期

調査項目		4	3	2	1	0
①	あなたは、友だちや先生方に対して「あいさつ」をしていますか。	63	34	2	0	2
		56	39	1	0	3
	あなたは、地域の方々に対して「あいさつ」をしていますか。	72	22	4	1	1
	69	28	2	0	1	
	あなたは、来客の方々に対して「あいさつ」をしていますか。	63	27	5	2	3
	70	23	5	0	2	
②	あなたは、学校の約束を守っていますか。	46	39	7	3	5
	54	41	0	0	5	
③	あなたは、児童会活動や学級の係活動、給食・そうじ当番などの仕事をきちんと行っていますか。	72	23	4	0	1
	79	18	0	0	1	
④	先生方は、あなたをほめてくれたり、はげましたりしてくれていますか。	83	13	1	1	2
	80	11	2	2	3	

⑪	あなたは、学校が楽しいですか。	78 71	18 23	2 3	1 2	1 0
⑫	先生は、困ったとき、話を聞いたり相談にのったりしてくれますか。	83 85	15 14	0 0	0 1	2 0
⑬	あなたは、家で、学校のことをよく話しますか。	58 63	28 23	8 8	4 1	3 5

◆保護者アンケート ※単位は%。端数処理等で100にならない場合がある。

調査項目		4	3	2	1	0
①	子供達は、ご家庭や町内で元気なあいさつをしていますか。	35 36	47 50	15 12	1 0	1 3
②	子供達は、学校での約束を守ろうとしていますか。	39 52	51 43	9 2	1 0	0 3
③	子供達は、あいさつ運動や学級の係活動、給食や清掃など、自分の役割を果たそうとしていますか。	78 78	19 18	2 1	0 1	1 2
④	学校は、校内外における子供の安全確保について、情報収集と十分な安全対策をとっていますか。	66 50	30 37	2 6	2 2	0 6
⑤	学校は、いじめ等のない安心できる学校づくりに取り組んでいますか。	45 37	41 35	5 10	0 3	8 16



4月 1年生のお世話をする
はりきり6年生



参加者の輪が広がる あいさつ運動



子ども集会 1年生の感想発表を
温かく見守る長木っ子

II 健康と体力

児童生徒の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員コメント
食や運動を通じて健康や体力に関心をもち、望ましい生活習慣を身に付けようとしている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	ノーメディアの取組は、子どもたちのみでなく、家庭の協力ああって成立する取組だと思う。
	年度			
自己評価の概要と学校の改善策	【前期→年度】本校独自のノーメディアの取組は、委員会の児童と相談しながら進めることで少しずつ効果を上げてきている。大北の生徒指導研修会で発表するなど他校からも注目されている。食事のマナーや好き嫌いの克服に関しては、授業で扱ったり、全体指導をしたりしながら、縦割り給食でも上級生が手本となることができるように取り組んでいきたい。			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
(4) 保健体育・食育の指導の状況	⑦基本的な生活習慣	保健室廊下掲示 てくてく歩こう運動 生活習慣とメディアに関する実態調査 保健指導の充実 栄養士による食育指導 ノーメディアコントロールデー 保護者への啓発	3.6	
(5) 体力づくり	⑧さわやかマラソン・業間運動への積極的な取組	さわやかマラソン なわとび運動 外遊びの奨励 マラソン記録会の実施	3.4	
	⑨新体力テスト結果の向上	結果分析・活用 体育授業での補強・準備運動		

【各種データ】

◆教職員による評価

自己評価A	自己評価B(評価指標)	実践課題
3.5	(4)=3.6	⑦=3.6
	(5)=3.4	⑧=3.4

- ・「食育を通してどんな子を育てたいのか」という共通理解と、食事中の基本的なマナーや約束を先生方でもう一度確認し、指導に生かしていきたい。
- ・メディアコントロールへの様々な取り組みは、子どもたちがメディアと上手に付き合っていくために、少しブレーキをかけるきっかけになっている。

◆児童アンケート

上段：R2前期 下段：R3前期

調査項目		4	3	2	1	0
⑥	あなたは、早ね 早起き 朝ごはん、歯みがきをしっかり行っていますか。	59	29	5	4	3
		55	32	9	0	3
⑦	あなたは、「さわやかマラソン」や「てくてく歩こう運動」を進んでいますか。	50	42	4	2	2
		52	41	5	0	2

◆保護者アンケート

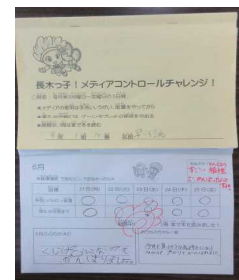
調査項目		4	3	2	1	0
⑥	子供達は、「はやね はやおき 朝ごはん」の習慣が身に付いていると思いますか。	37	41	19	3	0
		37	48	11	2	3
⑦	歯みがき指導やノーメディアデー等、子供達の生活習慣を改善するための学校の取り組みは効果があると思いますか。	31	47	18	1	4
		44	41	10	1	4
⑧	てくてく歩こう運動、さわやかマラソン、マラソン記録会等を通し、学校は進んで運動し体を鍛えようとする子どもを育てていますか。	66	30	3	1	0
		62	33	3	1	1



縦割りの給食
高学年を見て育つマナーと食育



スポーツテスト
縦割り班で 応援を受けながら



保護者と一緒に取り組む本校
独自のメディアコントロール週間



コロナ感染症対策
2学期は学級給食でスタート



輝き合い集会
徒歩登校の子どもを賞賛

Ⅲ 基礎学力

児童生徒の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者 評価委員コメント
意欲的に授業に取り組み、基本的な学習習慣を身に付けながら、学力を向上させようとしている。	前期	おおむね 良好	おおむね 良好	読書タイムが再開されたことは評価する点である。家庭ではなかなか本を読む機会がないため、よい取組である。
	年度			

自己評価の概要と学校の改善策	【前期→年度】若年教諭の割合が高くなり、教員間で基本的な学習の約束等の確認をしっかりと行うと共に、喫緊の教育課題等にも短時間の校内研修を積み重ね、指導力の向上を図っている。週3日、昼に15分間の読書タイムを設定し、読解力・想像力の向上や語彙不足を補うようにしてきた。研究主任が模範授業を提示しながら、共感的な学び合いのある授業、深い学びのある授業を目指して努力している。
----------------	---

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
(6) 学習への取組	⑩基本的学習習慣の定着	学習の約束(チャイム席/準備)話し相手を意識した聞き方・話し方 家庭学習	3.5	
	⑪学習内容の基礎・基本の確かな定着	ぐんぐんタイム 週末課題 長木検定 ドリル検定		
	⑫言語活動の充実	共感的学び合い かがやきタイム 振り返りの充実 会話力UP 探究型授業		
	⑬読書活動の推進	読書タイム 読書運動 週末読書		
(7) 諸学習調査の状況	⑭学習状況調査等の分析と改善	NRT・学習状況調査・CRTの分析と活用・補充指導	3.4	

【各種データ】

◆教職員による評価

自己評価A	自己評価B(評価指標)	実践課題
3.5	(6)=3.5	⑩=3.4 ⑪=3.4 ⑫=3.4 ⑬=3.8
	(7)=3.4	⑭=3.4

- ・長木検定やドリル検定の実施、週末課題など、学習内容の基礎基本の定着に共通理解をもって取り組むことができています。
- ・週3回の読書タイムの設定は、子どもたちの語彙を増やし読解力を高めると共に、落ち着いた生活にもつながっている。

◆児童アンケート

上段：R2前期 下段：R3前期

調査項目	調査項目				
	4	3	2	1	0
⑧ あなたは、家庭学習を毎日忘れずにやっていますか。	63 67	29 23	5 9	1 1	2 0
⑨ 先生は、分かりやすく教えてくれますか。	87 83	11 13	2 1	0 1	1 2
⑯ 授業で、進んで手をあげて発表していますか。	38 44	40 34	16 18	2 1	4 2
⑰ 友達と一緒に話し合ったり考えたりする学習は楽しいですか。	64 76	31 22	3 1	1 1	1 0
⑩ あなたは、音読や読書を進んで行っていますか。	53 55	30 37	10 7	2 0	6 1

◆保護者アンケート

調査項目	調査項目				
	4	3	2	1	0
⑨ 子供達は、家庭学習の習慣が身に付いていると思いますか。	45 43	40 48	14 4	0 2	0 4
⑩ ぐんぐんタイムや週末課題、長木検定等を通し、学校は子供達の基礎学力の定着に力を入れていると思いますか。	59 68	38 27	3 2	0 0	0 4
⑪ 学校は、「わかりやすい授業」を提供していますか。	46 45	43 38	1 2	0 0	9 16
⑫ 子供達に、家庭で読書をする習慣が身に付いていると思いますか。	16 20	40 37	28 26	15 13	0 5



研究主任の模範授業
授業のイメージの共有



再スタートした読書タイム



ワイガヤ研修会
みんなで目指す方向を共通理解

IV ふるさとキャリア教育

児童生徒の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者 評価委員コメント
ふるさとへの誇りと愛着心を持ち、ふるさとに生きようとする自立した気概をもとうとしている。	前期	おおむね良好	良好	新しい取組として、ソングPJ、あじさいロード（子どもハローワーク）を行っており、地域に目を向けた活動があった。
	年度			
自己評価の概要と学校の改善策	【前期→年度】地域のために未来に向かって夢を形にしていく大人と接することで、地域の「ひと・こと・もの」を誇りに思う学習へと発展を見せている。その中で、「自分たちには何ができるのか」子どもたちが今以上に課題意識をもって学習を進めることができるような働きかけが必要である。			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
(8) 命輝け！エゾタンポポプロジェクト	⑮地域のエゾタンポポを守る活動	エゾタンポポの植栽活動	3.6	
	⑯共生の意識を高める取組	命の学習 エゾタンポポの広報活動 山田町交流 スペシャルソングPJ あじさいレールロード植樹への参加		
(9) 伝統芸能の取り組み	⑰鳳凰太鼓、鹿島太鼓の伝承	太鼓クラブによる伝達 伝承クラブによる伝達	3.8	
(10) キャリア教育に重点を置いた取組	⑱協働力実践へのアプローチ	宿泊体験学習 地域行事への参加 町探検 職場体験 施設訪問	3.9	

【各種データ】

◆教職員による評価

自己評価A	評価指標(自己評価B)	実践課題(自己評価B)	
3.7	(8)=3.6	⑮=3.6	⑯=3.5
	(9)=3.8	⑰=3.8	
	(10)=3.9	⑱=3.9	

- ・実際に地域素材や人材を活用しながら活動を行っていることで、子どもたちが自分の町を好きになったり、誇りをもったりする機会となっている。
- ・子ども主体、子ども発信（のように思わせる仕掛け）を大切にしながら進めていかなければと思う。

◆児童アンケート

上段：R2前期 下段：R3前期

調査項目		4	3	2	1	0
⑤	あなたは、エゾタンポポプロジェクトや交流活動に進んで参加していますか。	30	39	20	3	8
		51	33	11	2	2

◆保護者アンケート

調査項目		4	3	2	1	0
⑬	学校は、エゾタンポポプロジェクトや鳳凰太鼓、鹿島太鼓・鹿島流し等を通してふるさとを愛し、誇る心を育てていると思いますか。	70	28	0	0	2
		65	28	1	0	6
⑭	学校は、ふるさとキャリア教育を通して、互いの良さを認め合い、協力して取り組もうとする気持ちが育っていると思いますか。	55	41	1	0	3
		55	32	2	0	11



スペシャルソングPJ:地域に広がる歌を作ろう！



長木のすてき発見！
地域を誇りに思う子どもに



タブレットを使って
エゾタンポポの観察

V 保護者・地域との連携

保護者・地域と学校の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員コメ
学校の取組がわかりやすく保護者・地域へ伝えられ、地域の教育力を有効に活用している。	前期	おおむね良好	良好	学校運営にあたって、学校側の取組が保護者側にうまく伝わっていないようにアンケートから伺える。よい取組をしているので、もっとアピールをしてもよいと思う。
	年度			
自己評価の概要と学校の改善策	【前期→年度】新型コロナ感染症の感染状況を踏まえ、運動会の準備や親子作業等PTAの活動の多くを中止とした。その中でエゾポップくらぶだけは希望者の参加ということもあり、話し合いを重ねながら午前プログラムで行うことができた。児童アンケートの⑬は毎回ポイントが低く心配していたが、今回は若干ではあるが高くなっている。保護者アンケートはどの項目も「分からない」と回答した割合が高く、学校報やホームページ等で発信し理解を得るようにしていきたい。			

評価指標	実践課題	主な取組	自己	価B
			前期	年度
(11) 地域・家庭との連携	⑱家庭・地域への情報発信・受信、相互理解	学校報の地区配付 「みんなの登校日」の設定 エゾポップくらぶ ブログ発信 メールによる日常活動の情報提供	4.0	
	⑳家庭・地域の意見を学校運営に生かすための取組	学校評価保護者アンケートの実施と活用		
(12) 地域の教育力の活用	㉑地域素材や人材の活用	学校支援地域本部事業の活用 正課クラブ指導者との連携	3.9	

【各種データ】

◆教職員による評価

自己評価A	自己評価B(評価指標)	実践課題	
3.9	(11)=4.0	⑱=4.0	㉑=3.9
	(12)=3.8	⑳=3.8	

・学級だよりは学年に応じて、隔週でもよいのではないかと。保護者目線では毎週必要だと考えるが、教材研究等にもっと時間を費やしたい。

◆児童アンケート

上段：R2前期 下段：R3前期

調査項目	4					3					2					1					0				
	⑬ あなたは、家で、学校のことをよく話しますか。	58	28	8	4	3	63	23	8	1	5														
⑭ あなたは、正課クラブの活動が楽しいですか。(4年生以上)	93	7	0	0	0	94	7	0	0	0															

◆保護者アンケート

調査項目	4					3					2					1					0				
	⑮ 学校だより・学年だより・保健だよりや日常の情報交換などを通じて、学校・子供達の様子をわかりやすく伝えていきますか。	64	32	4	0	0	63	28	6	0	3														
⑯ 学校は、PTA活動・教育後援会事業・スポ少等、保護者や地域との連携を大切にしていますか。	56	38	4	0	2	50	37	3	1	9															
⑰ 学校は、保護者の意見などを学校運営に生かしていると思いますか。	43	43	5	3	5	41	41	3	3	12															
⑱ 学校は、地域の特徴や地域の人材をよく活用していると思いますか。	52	40	1	0	7	50	37	1	0	12															



夏のエゾポップくらぶ
今年は川遊び限定で実施



正課クラブ 地域の方を先生に



スポーツ振興課とコラボ
オンラインでポッチャの交流

V 学校評価（後期）学校関係者評価委員会による評価

令和3年10月4日

(1) 項目別評価

評価項目	評価	コメント
I 社会性の育成	おおむね良好	「いじめ等のない安心できる学校づくり」に関して、学校側は4.0であるが、保護者側が不十分や分からないの評価があり、昨年度より下がっている。学校側の取組が分かるように、見える化するとよい。
II 健康と体力	おおむね良好	ノーメディアの取組は、子どもたちのみでなく、家庭の協力があって成立する取組だと思う。
III 基礎学力	おおむね良好	読書タイムが再開されたことは評価する点である。家庭ではなかなか本を読む機会がないため、よい取組である。
IV ふるさと キャリア教育	良好	新しい取組として、ソングPJ、あじさいロード（子どもハローワーク）を行っており、地域に目を向けた活動があった。
V 保護者・地域 との連携	良好	学校運営にあたって、学校側の取組が保護者側にうまく伝わっていないことがアンケートから伺える。よい取組をしているので、もっとアピールをしてもよいと思う。

(2) 全体的なコメント

- ・ベテランの先生方の授業力はさすがである。若い先生方も増えてきたが、それぞれに持ち味を生かしながら、がんばっている様子が感じられた。
- ・発言中、困っていた子どもが見られた時、子ども同士で励まし合う様子が見られた。
- ・一人一人がタブレットを使いこなせるような指導体制を取って欲しい。
- ・先生、子ども共に、授業を見られても、いつもと同じように自然な様子で授業が進んでいることに、感心した。
- ・児童会テーマや、各学級の目標が具体的でわかりやすく設定されている。
- ・先生方の笑顔や・表現力が素晴らしい。先生方も楽しんで授業を行っていることが分かる。
- ・6年生は地域の中でもとても明るく積極的である。先生がいなくても、自分たちで授業を進めることができるのではないか。
- ・回収率97%は、素晴らしい。学校がうまく動いている証である。